

(別記様式第15号)

令和3年度県民協働による里山の整備・利用事業進捗状況報告書

事業 主体名	村松西地区里山整備利用推進協議会 実務者(説明者)氏名：原田 豊士
-----------	--------------------------------------

No.	事業項目	事業名
6	森林を支える豊かな地域づくり	県民協働による里山の整備・利用事業
事業費 367.8千円 (うち森林づくり県民税： 367千円)		

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当地区は、農林業従事者の減少・高齢化により大半の森林が放置されており、風雪害による倒木が多い。特に赤松、杉は植林後、伐採適期を過ぎてきており、早急な伐採が望まれる。

(2) 本事業の目的

森林所有者の世代交代や過疎化等により、森林管理の空洞化が深刻さを増していることから、地域住民が協働で里山の整備や森林資源の多面的利活用を進めることで、人と森林との関係を再構築し、自律的・持続的な森林管理体制を築くことが目的とされている。

当地区では、人工林に対しては機材・技術両面で対応できないが、雑木林を計画的に伐採することにより、薪材、茸原木として活用するとともに、萌芽・実生による森林の更新をはかる。

事業内容

(1) 実施場所 青木村大字村松字湯坂

(2) 対象者 村松西地区里山整備利用推進協議会員

(3) 実施方法

伐採予定地の灌木伐採・玉切り・集材、薪生産、茸駒打ち、食害防止ネット設置ほか

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(事業活用期間：令和元年度～令和3年度、伐採跡地の再生：～令和23年度頃)

B 事業実施中

②令和3年度進捗状況

B 事業実施中

(現況写真等)



事業効果

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

伐採した雑木を薪材および駒打ち済み茸原木に加工して販売し、雑木の有効活用すると同時に共有林組合に代金を還付できた。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

今後も薪材および茸原木の加工。販売を継続する。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

活動が地域住民に認知され始め、倒木の片付け、不要な庭木の伐採などを依頼される事例が出てきた。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

(2) 課題

(3) 次年度以降の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

事業の制度等に対する要望等

-
-
-
-